

## 17 給食の残さ減量化に向けて

厚木市では、学校給食の食べ残し（残さ）の減量化に向けて様々な取組を行っています。

### (1) 給食の食べ残し量

	学 期	令和2年度		令和元年度	
		全体	1人当たり	全体	1人当たり
小学校	1学期	5,669.3kg	約0.51kg	22,001.2kg	約1.77kg
	2学期	24,571.5kg	約2.19kg	22,408.7kg	約1.80kg
	3学期	10,888.6kg	約0.97kg	9,992.9kg	約0.81kg
中学校	1学期	4,937.2kg	約0.86kg	17,517.5kg	約2.85kg
	2学期	27,128.8kg	約4.74kg	24,327.3kg	約3.96kg
	3学期	12,939.7kg	約2.26kg	9,996.0kg	約1.63kg

### (2) 食べ残しを減らす取り組み

食べ残しの理由は、食べられる量の個人差など、子どもたちによって様々ですが、理由の1つに「好き嫌い」が挙げられます。特に野菜、豆類などの献立を残しがちである傾向があります。

調理時に味付けや調理方法を工夫したり、給食時間に担任教諭による食育の充実を図るなど、食べ残しを減らすために、教育委員会、学校、栄養士が一丸となって取り組んでいます。